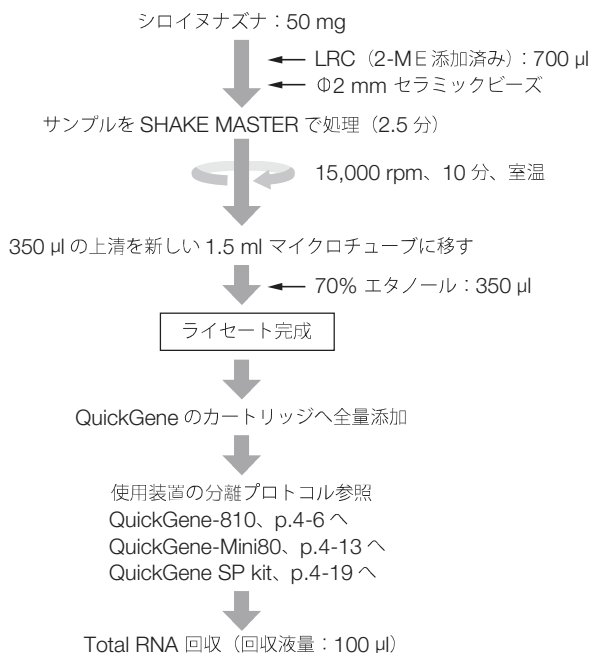


3-XII 章

植物組織からの total RNA分離

シロイヌナズナからの total RNA分離

プロトコル



結果

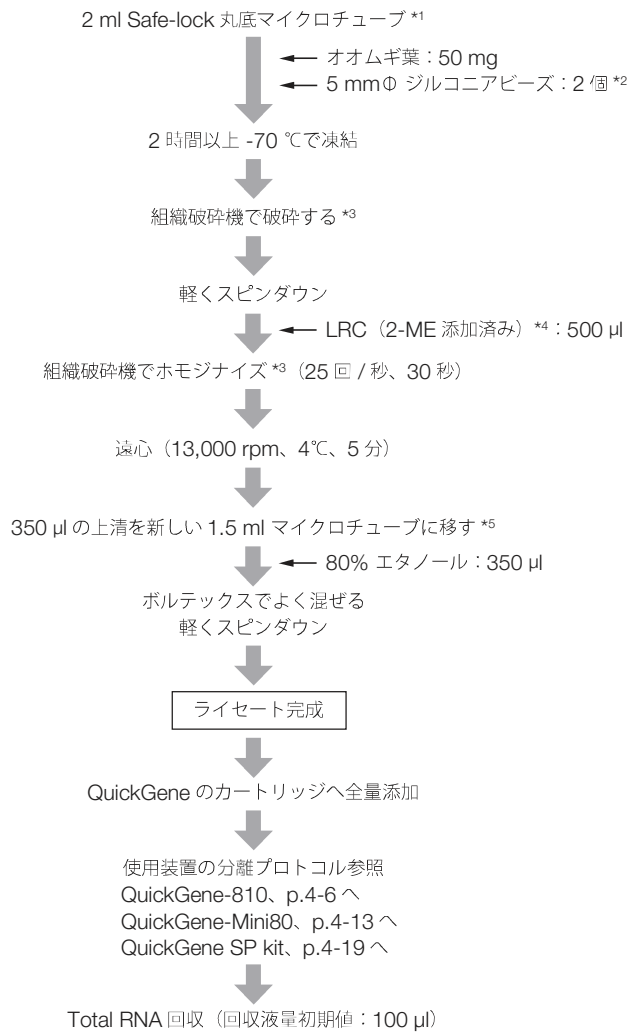
- 電気泳動図
データなし
- Total RNA の収量
データなし
- タンパク質の混入：A260/280
データなし
- カオトロピック塩の混入：A260/230
データなし
- その他
データなし

共通プロトコルサンプル

データなし

オオムギ葉からの total RNA分離

■ プロトコル



*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

*2 ニッカト社 (NIKKATO Co.Ltd.)

*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破碎法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

*4 1 ml の LRC 当たり 10 µl の 2-ME を加えてください。

*5 繊維が多少混じっていても結果に影響はありません。

結果

電気泳動図



電気泳動条件
0.8% アガロースゲル
TAE
2 μ l のサンプル / ウエル

M: λ -Hind III (100 ng)
1: コムギ葉 (*gramineae*)
2: オオムギ葉 (*gramineae*)
3: *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)
4: *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

Total RNA の収量

オオムギ葉	12.2 μ g
-------	--------------

タンパク質の混入：A260/280

オオムギ葉	2.12
-------	------

カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

その他

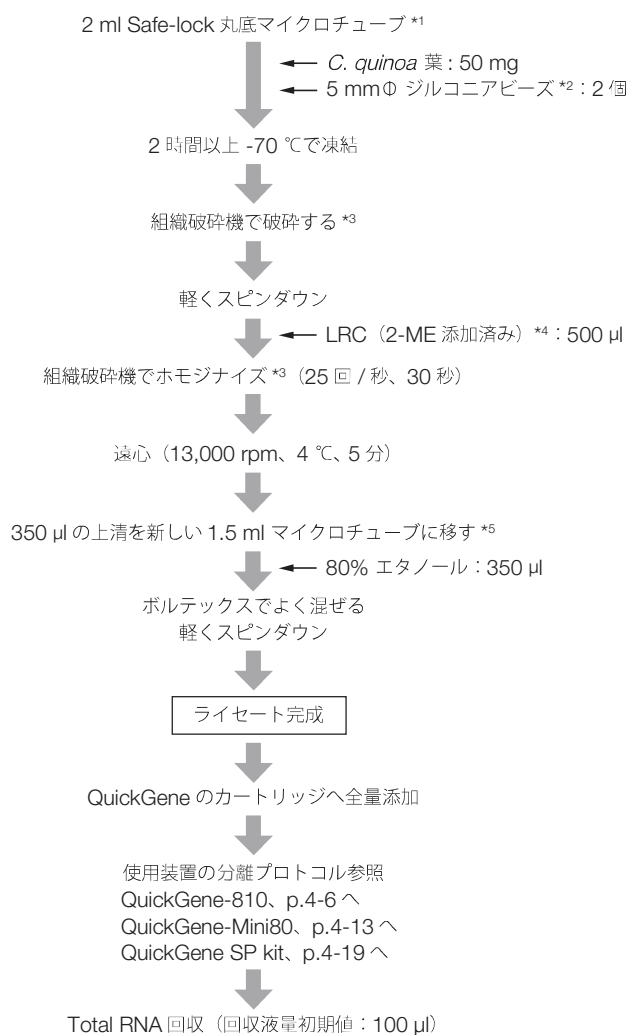
データなし

共通プロトコルサンプル

N.benthamiana 葉、*C. quinoa* 葉、コムギ葉

キノア (キヌア、キンワ) 葉からの total RNA分離

| プロトコル



*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.,Ltd.)

*2 ニッカトー社 (NIKKATO Co.,Ltd.)

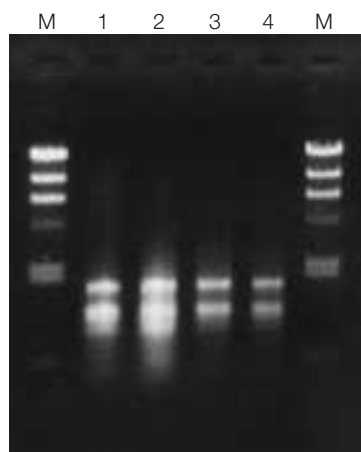
*3 ティッシュライザー (TissueLyzer) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.,Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破砕法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

*4 1ml の LRC 当たり 10 µl の 2-ME を加えてください。

*5 繊維が多少混じっていても結果に影響しません。

結果

電気泳動図



電気泳動条件
0.8% アガロースゲル
TAE
2 μ l のサンプル / ウエル

M : λ -Hind III (100 ng)
1 : コムギ葉 (*gramineae*)
2 : オオムギ葉 (*gramineae*)
3 : *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)
4 : *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

Total RNA の収量

<i>C. quinoa</i> 葉	3.88 μ g
--------------------	--------------

タンパク質の混入 : A260/280

<i>C. quinoa</i> 葉	2.02
--------------------	------

カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

その他

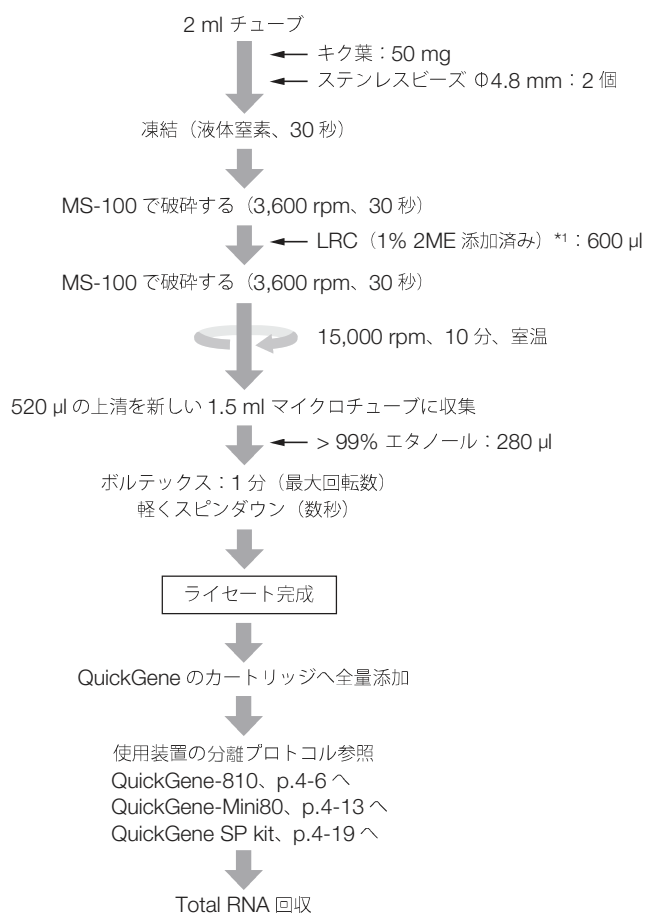
データなし

共通プロトコルサンプル

N. benthamiana 葉、オオムギ葉、コムギ葉

キク（菊）からの total RNA分離

| プロトコル



*1 1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加える。

| 結果

■ 電気泳動図

データなし

■ Total RNA の収量

データなし

■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

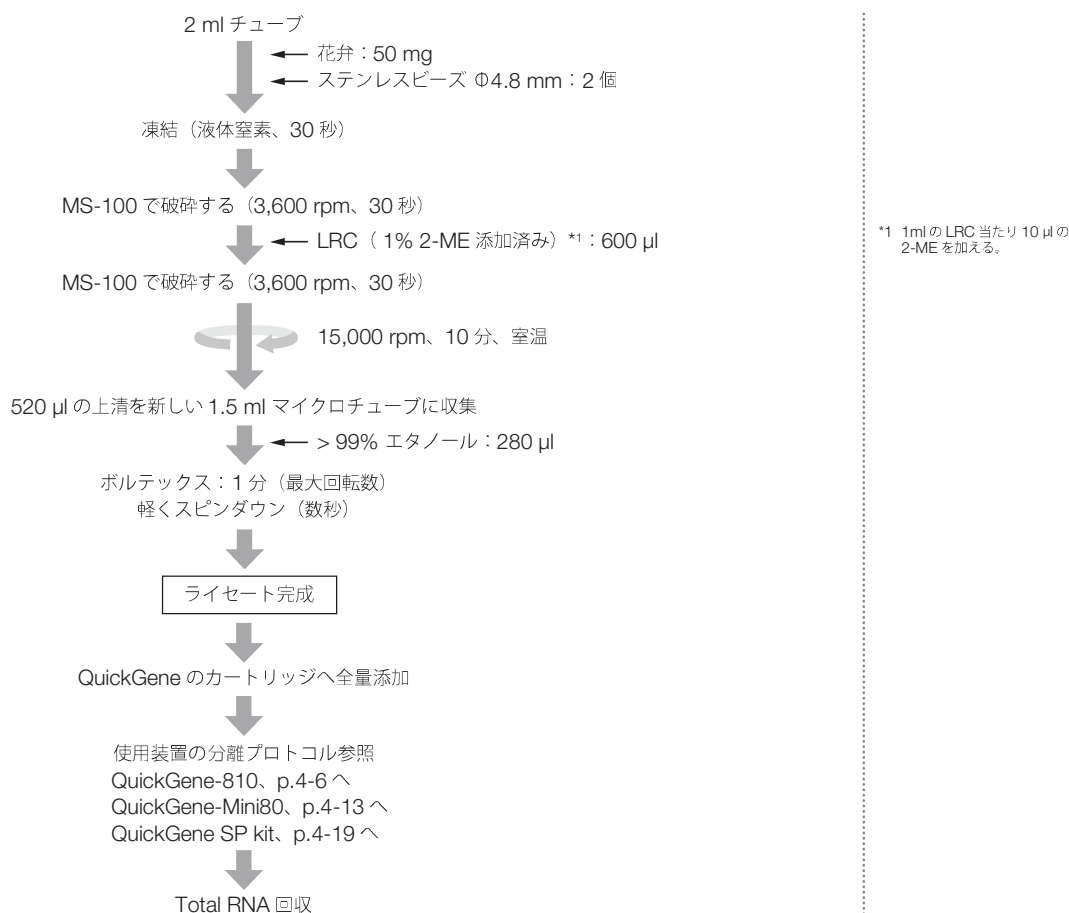
データなし

| 共通プロトコルサンプル

データなし

花卉からの total RNA分離

プロトコル



結果

■ 電気泳動図

データなし

■ Total RNA の収量

データなし

■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

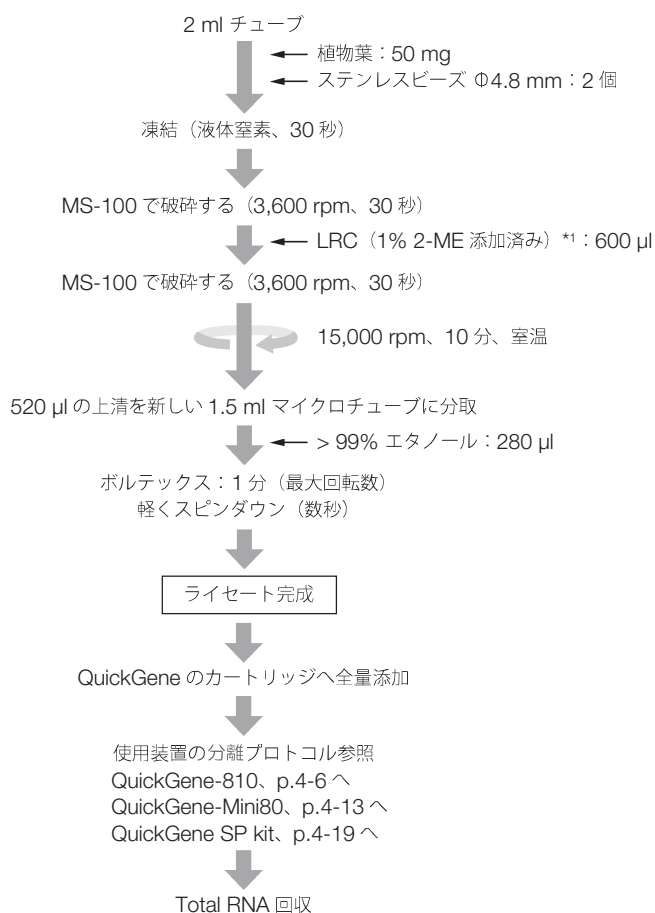
データなし

共通プロトコルサンプル

データなし

植物からの total RNA分離

プロトコル



*1 1 ml の LRC 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

結果

■ 電気泳動図

データなし

■ Total RNA の収量

データなし

■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

データなし

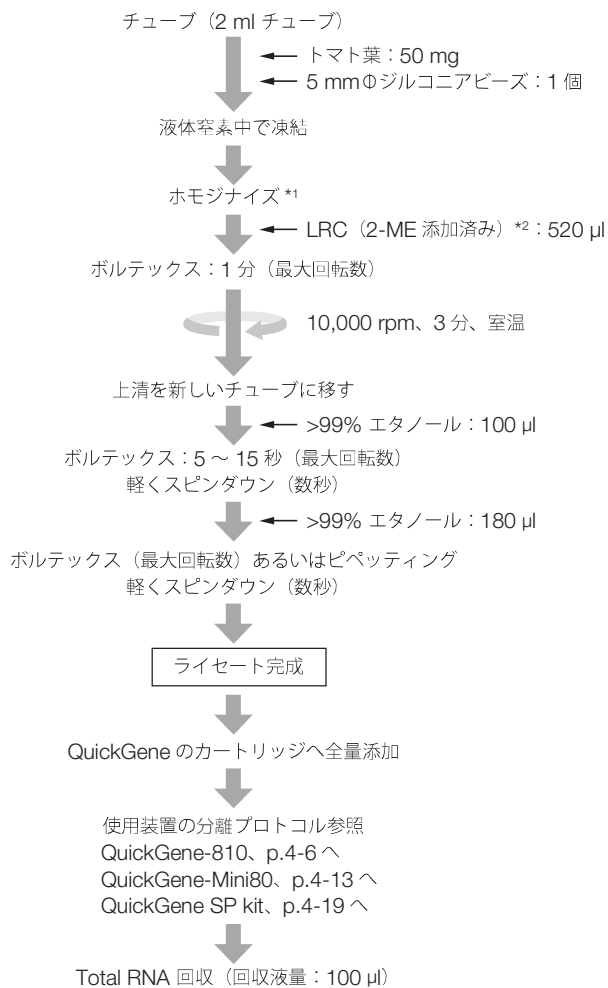
共通プロトコルサンプル

データなし

RB-7

トマト葉からの total RNA分離

プロトコル



*1 ホモジナイザー (MS-100) :
トミー精工 (株) 製品
ビーズ :
ジルコニア /5mmφ、
1 個 (Cat.No.ZB-50)
チューブ :
2ml チューブ (Cat.No.72893)
ホモジナイズ条件 :
2,500 rpm、10 秒あるいは
3,000 rpm、10 秒

*2 1ml の LRC 当たり 10 μl の
2-ME を加える。

結果

電気泳動図

データなし

Total RNA の収量

トマト葉の量	収量 (μg)	平均収量 (μg)
25 mg	6.3	5.3
	4.2	
50 mg	9.2	7.8
	6.2	
	8.0	

■ タンパク質の混入：A260/280

トマト葉の量	A260/280	A260/280 の平均値
25 mg	2.03	2.02
	2.02	
50 mg	2.01	2.00
	2.00	
	1.99	

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

トマト葉の量	A260/230	A260/230 の平均値
25 mg	1.55	1.54
	1.62	
50 mg	1.62	1.65
	1.66	
	1.66	

■ その他

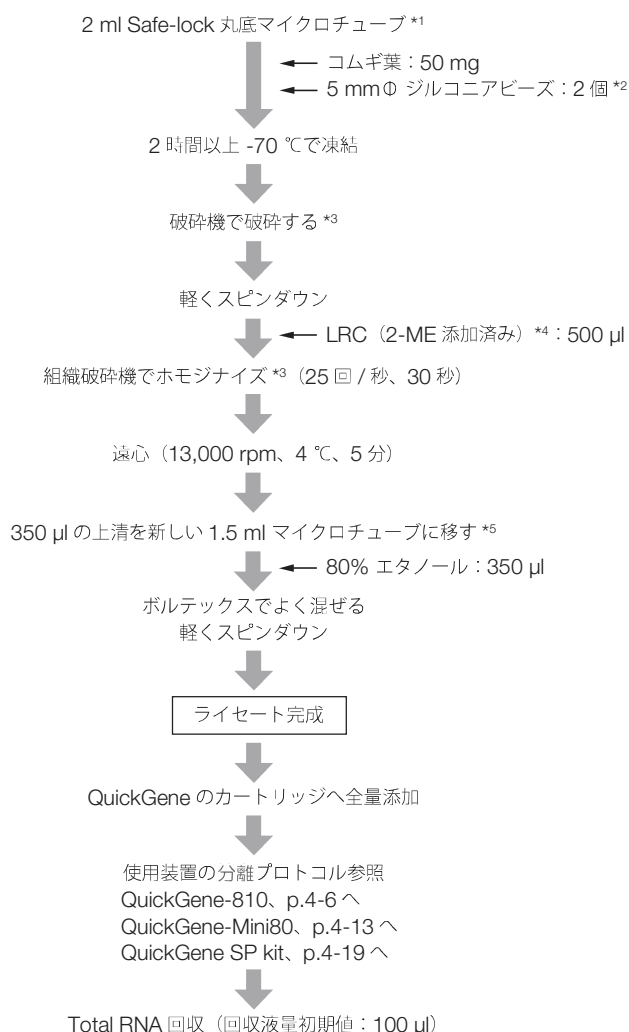
データなし

■ 共通プロトコルサンプル

データなし

コムギ（小麦）からの total RNA分離

プロトコル



*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

*2 ニッカトー社 (NIKKATO Co.Ltd.)

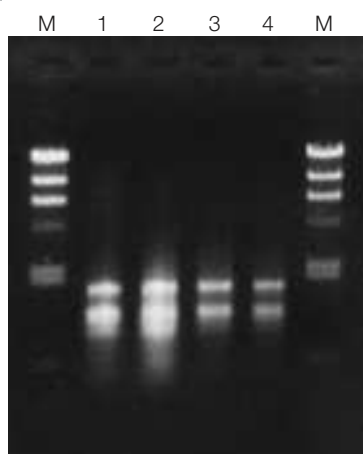
*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破碎法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

*4 1 ml の LRC 当たり 10 µl の 2-ME を加えてください。

*5 繊維がいくらか混じっていても結果に影響はありません。

結果

電気泳動図



電気泳動条件
0.8% アガロースゲル
TAE
2 μ l のサンプル / ウエル

M : λ -Hind III (100 ng)
1 : コムギ葉 (*gramineae*)
2 : オオムギ葉 (*gramineae*)
3 : *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)
4 : *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

Total RNA の収量

コムギ葉	6.12 μ g
------	--------------

タンパク質の混入 : A260/280

コムギ葉	2.11
------	------

カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

その他

データなし

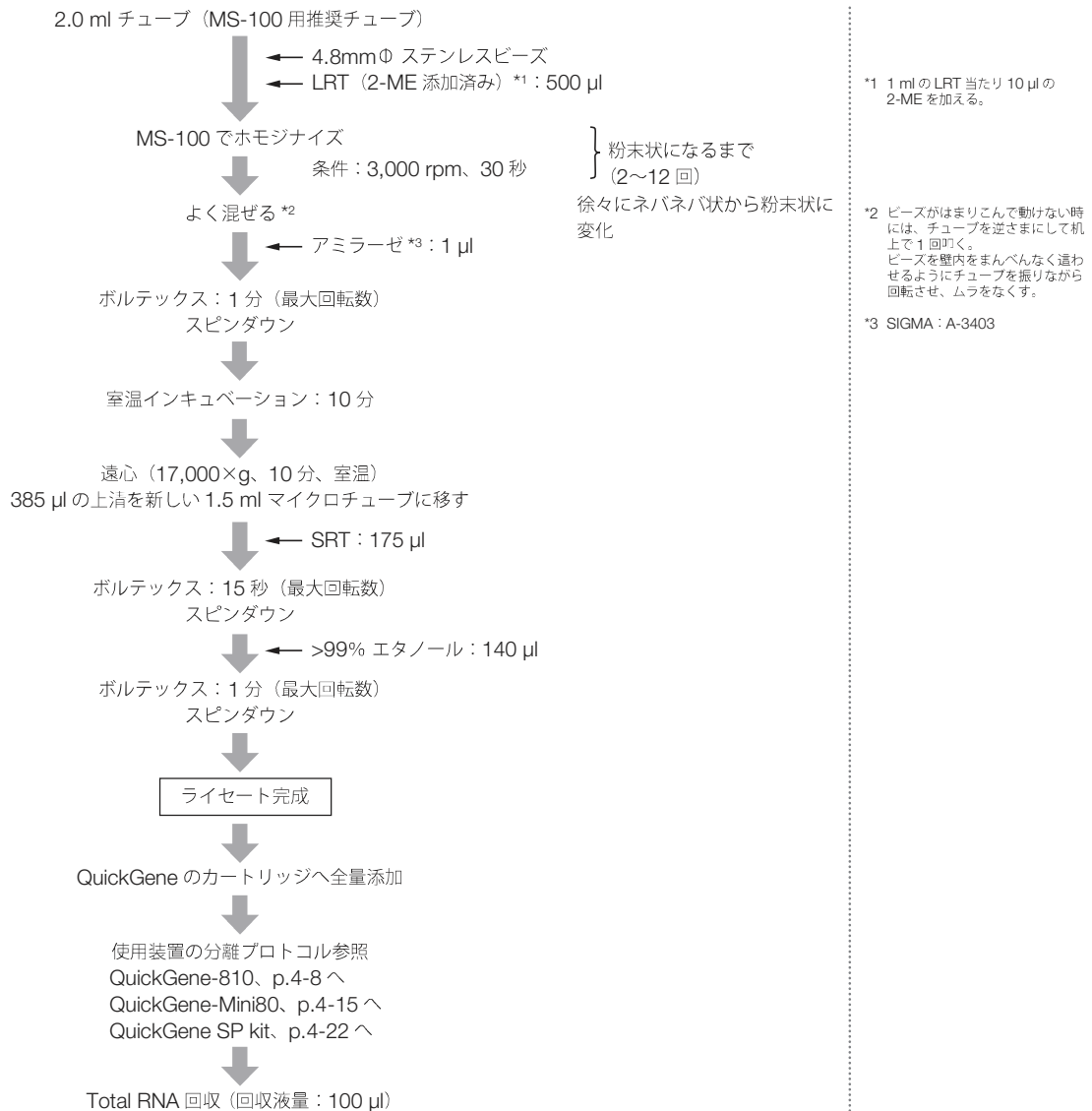
共通プロトコルサンプル

N.benthamiana 葉、オオムギ葉、*C. quinoa* 葉

RB-9

アマランサスの種からの total RNA分離

プロトコル



結果

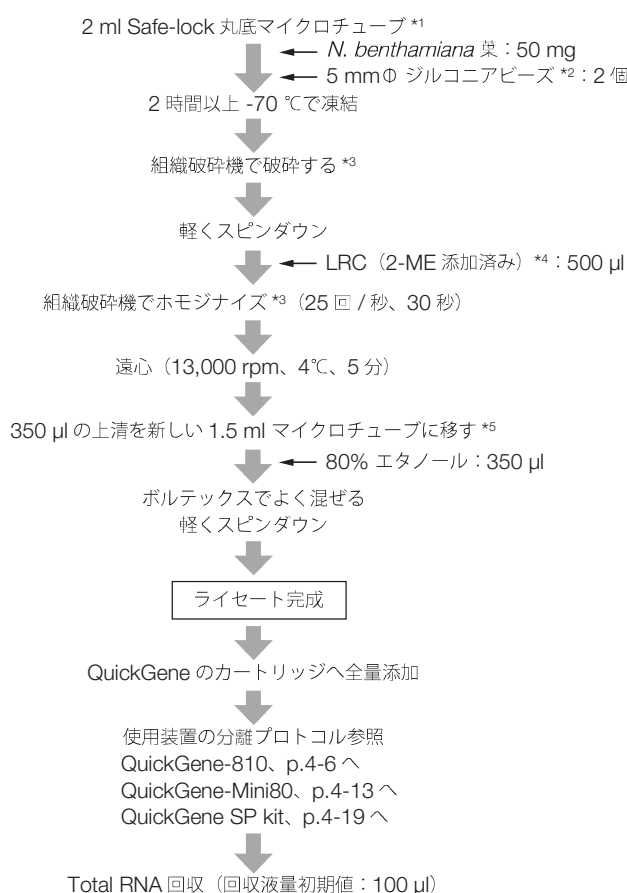
- 電気泳動図
データなし
- Total RNA の収量
データなし
- タンパク質の混入 : A260/280
データなし
- カオトロピック塩の混入 : A260/230
データなし
- その他
データなし

共通プロトコルサンプル

データなし

タバコ (*N.benthamiana*) 葉からの total RNA分離

■ プロトコル



*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.,Ltd.)

*2 ニッカト社 (NIKKATO Co.,Ltd.)

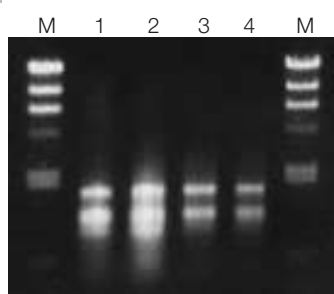
*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyzer) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.,Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破碎法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

*4 1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加えてください。

*5 繊維がいくら混じっていても結果に影響はありません。

■ 結果

■ 電気泳動図



電気泳動条件
 0.8% アガロースゲル
 TAE 緩衝液
 2 μl のサンプル / ウエル

M : λ-Hind III (100 ng)
 1 : コムギ葉 (*gramineae*)
 2 : オオムギ葉 (*gramineae*)
 3 : *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)
 4 : *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

■ Total RNA の収量

<i>N. benthamiana</i> 葉	2.64 μg
-------------------------	---------

■ タンパク質の混入 : A260/280

<i>N. benthamiana</i> 葉	1.95
-------------------------	------

■ カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

■ その他

データなし

■ 共通プロトコルサンプル

オオムギ葉、*C. quinoa* 葉、コムギ葉

